

できることから始めよう

水辺の小さな自然再生事例集

～作成経緯、概要、今後の展開～

和田 彰

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局

水辺の小さな自然再生事例集 (2015年3月発行)



- 編著：「小さな自然再生」事例集編集委員会
- 監修：玉井信行（東大名誉教授/JRRN顧問）
- デザイン：本間由佳（鶴川女子短期大学）
- 発行：日本河川・流域再生ネットワーク (JRRN)

<http://jp.a-rr.net/jp/activity/publication/104>

事例集制作の経緯

年月	活動内容	
2012.9	自由集会「小さな自然再生が中小河川を救う！Ⅰ」	契機
2013.9	自由集会「小さな自然再生が中小河川を救う！Ⅱ」	企画
2013.11	河川整備基金助成事業として事例集制作を申請	採択
2014.5	ボランティア委員 公募	
2014.6	第1回「小さな自然再生」事例集編集委員会 開催	
2014.9	自由集会「小さな自然再生が中小河川を救う！Ⅲ」 第2回「小さな自然再生」事例集編集委員会 開催	経過報告
2014.11	有識者座談会 開催 第3回「小さな自然再生」事例集編集委員会 開催	
2014.11	九大・島谷幸宏先生インタビュー@福岡・上西郷川	
2015.3	「水辺の小さな自然再生事例集」発行	
2015.9	自由集会「小さな自然再生が中小河川を救う！Ⅳ」	普及

事例集編集委員会（計3回開催）

小さな自然再生の専門家、行政担当者、若手技術者等で構成される有志による「小さな自然再生」事例集編集委員会を設立。各委員の現場経験に基づく全国の先進事例、また基本的考えや留意点等の知見を整理。



氏名	所属	勤務地	委員/事務局		
			学識委員	公募委員	事務局
伊豫岡 宏樹	福岡大学 工学部社会デザイン工学科	福岡県福岡市		○	
岩瀬 晴夫	(株)北海道技術コンサルタント	北海道札幌市	○		
甲斐 崇	(株)四電技術コンサルタント	香川県高松市		○	
菊池 佐智子	山梨県富士山科学研究所 環境共生研究部	山梨県富士吉田市		○	
瀧 健太郎	関西広域連合 本部事務局	大阪府大阪市	○		
竹内 えり子	(株)建設技術研究所 東京本社環境部	埼玉県さいたま市		○	
田中 五月	一般社団法人 ClearWaterProject	愛知県名古屋		○	
中島 満香	ブライスウォーターハウスコーパス (株)	東京都中央区		○	
長山 昭夫	群馬工業高等専門学校 環境都市工学科	群馬県前橋市		○	
浜野 龍夫	徳島大学大学院	徳島県徳島市	○		
林 博徳	九州大学大学院工学研究院	福岡県福岡市	○		
原田 守啓	(独)土木研究所 自然共生研究センター	岐阜県各務原市	○		
三橋 弘宗	兵庫県立大学 自然・環境科学研究所	兵庫県三田市	○		
宮尾 徹	(株)建設技術研究所 東京本社水システム部	東京都中央区		○	
吉富 友恭	東京学芸大学 環境教育研究センター	東京都小金井市	○		
伊藤 将文	日本河川・流域再生ネットワーク 事務局	東京都中央区			○
小野寺 翔	日本河川・流域再生ネットワーク 事務局	東京都中央区			○
木村 達司	日本河川・流域再生ネットワーク 事務局	東京都中央区			○
後藤 勝洋	日本河川・流域再生ネットワーク 事務局	東京都中央区			○
和田 彰	日本河川・流域再生ネットワーク 事務局	東京都中央区			○

有識者座談会（2014.11開催）

「小さな自然再生」に関わる現場熟練者と関係省庁行政担当官による**有識者座談会**を設け、「小さな自然再生」の更なる推進に向けた課題や今後の方向性について議論。



■ 座談会座長：玉井信行（東京大学名誉教授）

■ 座談会参加者：

鳥居敏男（環境省自然環境局自然環境計画課長）

中村圭吾（国土交通省国土技術政策総合研究所
河川研究部河川研究室 主任研究官）

岩瀬晴夫（株式会社北海道技術コンサルタント）

浜野龍夫（徳島大学大学院教授）

「水辺の小さな自然再生事例集」概要紹介

＜構成＞

1章：水辺の小さな自然再生とは

2章：水辺の小さな自然再生を行うための留意点

3章：事例紹介

特集：島谷先生インタビュー

4章：「小さな自然再生」座談会



「水辺の小さな自然再生事例集」概要紹介

1章：水辺の小さな自然再生とは

「小さな自然再生」の定義や基本的な知識を紹介。

「小さな自然再生」の定義

以下の3条件を満たす取組みを「小さな自然再生」と定義

- ①自己調達できる資金規模であること
- ②多様な主体による参画と協働が可能であること
- ③修復と撤去が容易であること

「水辺の小さな自然再生事例集」概要紹介

1章：水辺の小さな自然再生とは

- 「小さな自然再生」は単なる環境再生のツールに留まらず、**地域づくりへの波及効果**として地域の協働・活性化ツールとしての側面も合わせ持つ。 ～上西郷川を例に紹介～
- 小さな自然再生の英語訳には“**Collaborative Nature Restoration**”（協働による自然再生）を当てた。

「水辺の小さな自然再生事例集」概要紹介

2章：水辺の小さな自然再生を行うための留意点

「小さな自然再生」の実施に際しての留意点として以下の3点を整理。

①手続き（法的な規定）

河川、水路の管理者への許可申請等

②人とのつながり（人的な調整）

関係者との調整、行政の協力等

③安全管理（現場での制約）

治水・景観への配慮、装備や緊急対応等

「水辺の小さな自然再生事例集」概要紹介

3章：事例紹介

「小さな自然再生」の現場での技術面の工夫や失敗、実施体制等のスキーム、使用材料や工具など、幅広い読者層の活用を視野に事例を紹介（13事例）。



「水辺の小さな自然再生事例集」概要紹介

3章：事例紹介

事例集で紹介した13事例

No.	河川名	適用技術
1	北海道・駒生川	石を詰めたネットと丸太による簡易魚道
2	神奈川・黒須田川	ネットと玉石による洲とよどみ形成（バーブ工）
3	愛知・五条川	植生ロールによる洲と岸辺の造成
4	岐阜・天神川	根固めブロック再配置による魚道形成
5	岐阜・桂川	ネットと栗石による寄り洲と淵形成（バーブ工）
6	滋賀・天野川	組立式の鋼製魚道
7	滋賀・喜撰川	木箱による簡易魚道
8	滋賀・高時川	根固めブロックによる魚の避難場所造成
9	兵庫・住吉川	粗石の小プール造成による簡易魚道
10	兵庫・安室川	川を耕す人力川底攪乱による生息場造成
11	山口・島田川	石組みによる簡易魚道
12	福岡・室見川	人力川底攪乱によるシラウオ産卵床造成
13	福岡・上西郷川	間伐材や捨石による水制

「水辺の小さな自然再生事例集」概要紹介

3章：事例紹介



「水辺の小さな自然再生事例集」概要紹介

特集：島谷先生インタビュー



●話題：

- ①上西郷川の川づくりで工夫した点
- ②上西郷川の川づくりで他の河川でも参考になる点、
「小さな自然再生」の技術的なポイント
- ③「小さな自然再生」を普及していくためには
- ④「小さな自然再生」の副次的な効果

「水辺の小さな自然再生事例集」概要紹介

4章：「小さな自然再生」座談会

関係省庁の施策との共通項や関連性を見出し、「小さな自然再生」の更なる推進に向けた課題や今後の方向性について議論。

「小さな自然再生」の推進に向けた課題

- ①ワンストップ窓口の設置（着手時や実施中の悩み事を解決する相談窓口）
- ②動ける技術者（市民と対話できる職人技を持った技術者）の養成
- ③若手技術者の育成、そのための訓練の場（失敗が許容できる現場）の確保

今後の展開

「小さな自然再生」の更なる普及に向け、今年度も人材育成に注力し鋭意活動中。

- 事例集を教材とした現場研修会を開催
 - ⇒2015年9月8日： 愛知県豊田市・岩本川
 - ⇒2015年11月2日： 滋賀県長浜市・高時川
- ウェブサイト「小さな自然再生」構築中
 - ⇒2016年2月頃：公開予定
 - ⇒事例情報を集約、関連行事や資料案内等
 - ⇒相互交流機能 etc.
- 「小さな自然再生」の仲間のネットワーク化

今後の展開

事例集を教材とした**現場研修会**を開催

⇒2015年9月8日（火）： 愛知県豊田市・岩本川

⇒2015年11月2日（月）： 滋賀県長浜市・高時川



今後の展開

ウェブサイト「小さな自然再生」構築中

⇒事例情報を集約

⇒関連行事や資料案内

⇒相互交流機能 etc.

⇒**2016年2月頃：公開予定**



ご清聴ありがとうございました



応用生態工学会（第19回郡山大会）自由集会『小さな自然再生が中小河川を救う！Ⅳ』
（2015年9月10日：日本大学工学部キャンパス 70号館）

作成： 日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）

事務局（連絡先）： 〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 新川中央ビル7階

公益財団法人リバーフロント研究所内

Tel: 03-6228-3862 Fax: 03-3523-0640

E-mail: info@arr.net URL: <http://www.arr.net/jp/> facebook: <https://www.facebook.com/JapanRRN>

JRRN事務局は、「アジア河川・流域再生ネットワーク構築と活用に関する共同研究」の一環として、公益財団法人リバーフロント研究所と株式会社建設技術研究所国土文化研究所が公益を目的に運営を担っています。

